



サービス部 **羽賀 義弘** はが よしひろ

ジー、エム建機リース株式会社のサービス部に所属している羽賀義弘は、1997年(平成9年)に新卒入社した、勤続25年以上になるベテラン社員だ。これまで津川、新潟、江南など様々な勤務地を経験してきた羽賀。これまでの歩みを振り返りつつ、仕事で意識しているポイントや今後の目標について語ってもらった。

努力して身につけたスキル

入社するきっかけとなったのは、当時ジー、エム建機リースの常務を務めていた神尾からの誘いだ。とある一件で神尾に世話になった羽賀は、「一緒に働かないか」という誘いを受けて、新たな一歩を踏み出す決意をしたのである。

高校卒業後、会社の一員となった羽賀を待っていたのは、ひたすら勉強に励む毎日だった。工業高校ではなく、普通科の高校を卒業した自身にとって、自動車関連の知識もなければ整備士としての技術も持ち合わせておらず、文字

通りゼロからのスタートだったのだ。そのため、昼間は働きつつ養成学校に通い、仕事が終わったあとは整備士の資格取得に向けて自主勉強に注力。肉体的にも精神的にも大きな疲労を感じる日々が続いた。さらに、ときを同じくして世話になった神尾がこの世を去ったとの知らせが入り、悲しみに暮れた羽賀は退職を考えるように。だが、周囲の仲間たちが仕事に励んでいるなか、自分だけがめげるわけにはいかなないと心を奮い立たせ、働き続ける決意を固めたのだった。

大切に修理する

整備を必要とする車は、作業がスムーズにいくものもあれば、そうでないものもある。稼働を続けて何十年と経っている車は錆による劣化具合がひどく、メンテナンスに時間がかかってしまうのだ。それでも羽賀は、たとえ多くの作業時間を要したとしても、一台一台を丁寧に修理していく。他社に貸し出す車である以上、整備

が不十分で事故を引き起こしてしまったりは元も子もない。加えて、まだ動く車両をスクラップにしていってしまうのは、SDGsの観点からも避けたいと考えているからだ。この意識によって、サービス部が扱っている車は他社に比べても寿命が長くなっているのがある。

「壊れてしまったものを再生させるのはとても楽しいと感じます。ものを大切にしている気持ちを知ることが出来る部分も、サービス部の魅力です」。

これからの会社を引っ張る人材を

最近では研修生や後輩たちの人数も増えてきている。ベテランの領域に入っている羽賀にとって、後継を育てていくことは大切な責務だ。将来を考えたときに、自分がいなくても部署の仕事が円滑にまわっていくよう、技術を継承し、経験を積んでもらうのが今後の目標である。全てのことを一人のできるようになるまでには

10年近くもの歳月がかかる。これまで積み上げてきたキャリアをフルに活かし、人材育成に力を注いでいく考えだ。

「できないことに対して怒っても仕方ありません。私が伝えられるものを、いかにわかりやすく伝えていけるかが重要です。そのためにも、気を引き締める部分は引き締めつつ、相手がきちんと理解しているかに気を配りながら教えていきたいと思っています」。

自宅に帰れば3人の子を持つ父親としての顔を見せる羽賀。仕事に励みながらも、積極的に家事をしているという。日々充実した日々を送っている羽賀は、この先も目標を達成するために挑み続けていくことだろう。



羽賀さん ってどんな人？

巻頭を飾った羽賀さんの魅力をさらに深掘り！
お二人の思う、羽賀さんの尊敬しているところとは？

五泉営業所 所長代理 あべとおる 阿部 亨さん



Q1. 羽賀さんを一言で表すと？

ジー、エム建機リースの心臓部

サービス部の長として各所の車検の対応をこなしていることはもちろん、困ったことがあっても何でも対応できる対応力、社員・お客様から共に愛されるキャラクターと、まさに当社の核となる方です。

Q2. 尊敬している点は？

どんなことにも対応できる能力と判断力。研修生のチャーターもなかなか言葉が通じないなかで、しっかりと面倒をみるその責任感と、周囲への気遣いが素晴らしいと感じます。そして明るい性格！大変尊敬しています。

サービス部

かとうしんや 加藤 信也さん



Q1. 羽賀さんを一言で表すと？

誰からも頼られ、知識豊富な尊敬する先輩

誰からの相談でも的確なアドバイスをしていて、知識も幅広く何でも相談できる先輩だと感じています。

Q2. 尊敬している点

いつも周囲から頼りにされていて、技術も凄い点です。「将来こんな人になりたい」と目指しています。